



ロジック国語講座



ロジック国語講座は、一学年のGS、二学年のSR・CRの中で、論文作成の基礎を学ぶ講座です。本年度は各学年において、以下の要領で実施されました。

1 1 学年

- ① 日時 令和2年2月21日(金)7限目(3月3日は新型肺炎による休校により中止)
- ② 対象 1学年全生徒及び職員 約320人
- ③ 講師 国分高校 国語科 平山 拓磨 教諭
- ④ 内容



小論文学習の意義や小論文の種類、学び方、調べ方等について具体的な例を提示しながら、国語便覧等を活用して、実践的に学習を進めました。また、**高度な小論文を作成するためには、国語的な文章能力だけでなく、知識やその人が行ってきた体験、物事に対する考え方など幅広い力が必要であり、日頃の授業や学校行事、部活動、課題研究、読書や興味関心のあることについて調べること等、今後の高校生活において何事にも全力で取り組む必要性があることを強調しました。**最後に、2回目に向けての小論文の課題が出され講義が終了しました。



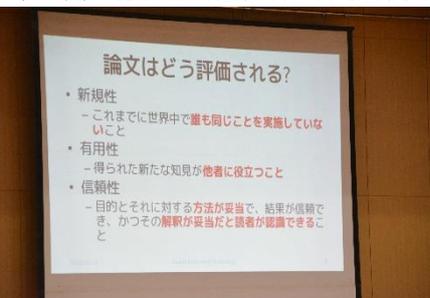
1 学年講座の様子

2 2 学年

- ① 日時 令和2年2月12日(金)6限目
- ② 対象 2学年全生徒及び職員 約290人
- ③ 講師 第一工業大学工学部情報電子システム工学科 中茂 睦裕 教授
- ④ 内容



論文の種類による分量の目安に関する説明の後、**理解しやすい文章の条件として、新規性・有用性・信頼性の3点を示され、誰のために書くのか読み手を意識しながら、簡潔で論理的な文章にすることの大切さを強調されました。**また、ものづくり系論文の事例として、研究の背景と目的→課題の設定→課題の解決方法の立案→実践→評価実験→総括(主張)といった論文作成の順序についてクイズ形式で説明されました。



2 学年講座の様子

学年それぞれの目的に違いはありましたが、生徒たちは、論文の書き方にとどまらず、論文学習の意義や手法について理解し、3年次の論文作成に向けて計画的に学習を進める必要性を学ぶことができました。今後課題研究を進めるあたり、論文作成はもちろん、ポスターやスライドの作成にも等に生かしてほしいです。